

ハルルさんの びでんのカレー



ターメリック・
カイエン・ペッパー
スターアニス...

クミン・シナモン・
カルダモン...

ここは やまの ちいさな がっこう。
ハルルさんは、きゅうしょくの せんせいです。

こどもたちが きゅうしょくしつに やってきました。

「ハルルさん、なにしているの？」

「いま、カレーのもとをつくる スパイスを はかっていたのさ。

クミン、シナモン、カルダモン、ターメリック、

スターアニス、カイエンペッパー……って いいながらね」

「じゅもんみたい」

「そうさ。ハルルさんの ひでんのカレーは、
じゅもんのスパイスで できているんだよ」

「へえ つくってみたい！」

「いっしょに つくるかい。みんな てを あらっておいで」

これははかった
スパイスだよ！



「スパイスって、なに？」

「スパイスはね、しょくぶつから できていて、

いろいろな えいようが あるんだよ。

ターメリックは、カレーの いろを つける。

からいのは カイエソペッパー。とうがらしの こなさ。

こっちは スターアニス。

ちょっと かわった においが するだろう」

「そして、クミンと カルダモンは

カレーの においの ちゅうしん。

シナモンは スパイスの おうさまと いわれるくらい

からだに いいものが いっぱい はいっているんだよ」

ハルルさんは、コホンと せきばらい。

「これから ハルルさんの カレーの ひでんを おしえるからね。

ひでんその1 19しゅるいの スパイスを 入れること」





「さて、つぎは しょうがと にんにくを きざむよ」
「ほうちょうで きると、シャキシャキ おとが するだろう。
そのおとが きこえなくなるくらい
ちいさく ちいさく きるのさ」

こどもたちは きざみはじめました。
なかなか ちいさく なりません。
「これでいい？」
「まだまだ、もっと ちいさくだねえ」

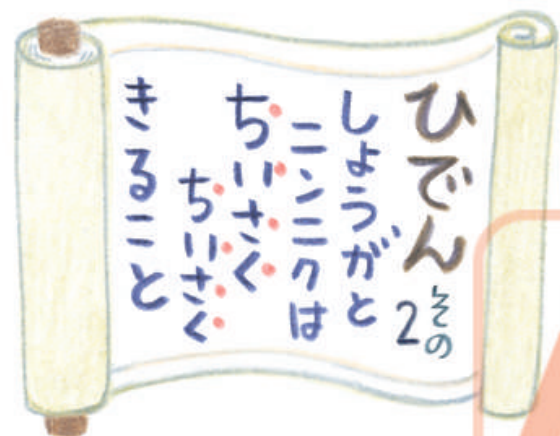
「はいはい。しあげは ハルルさんに おまかせあれ！」

トトン タタン

あっというまに きれいしました。

「ひでんその2 しょうがと ニンニクは

ちいさく ちいさく きること」



AliceKan

おまかせなさい...



おニニ!!!

トトン

タタン

